

みらい

〔編集・発行〕

西会津町総合計画策定プロジェクトチーム

(庶務 企画情報課)

電話 45-4536 FAX45-4199

E-mail kikaku@town.nishiaizu.fukushima.jp

次期総合計画 基本構想の検討進む

平成31年度を初年度とする新しい総合計画は、町民の皆さんで組織した「総合計画検討会議」と役員職員で組織する「総合計画策定プロジェクトチーム」が協力しながら、計画づくりを進めています。

検討会議は、8月9日の会議で9回目となり、これまで「基本構想」に盛り込んでいく町の将来像やまちづくりの方向性の検討をしてきました。

検討は、「教育・文化」「農林・商工業」「観光振興、移住・定住促進」「保健・医療・福祉、コミュニティ」「生活環境」の5つのグループに分かれ話し合う方法で行っています。また、プロジェクトチームのメンバーもグループに加わり、話し合いに参加しています。

第7回までの会議で、基本構想を

構成する町の将来像やまちづくりの方向性について、検討委員の皆さんから意見をいただき、それを参考にプロジェクトチームが作成したたたき台の内容について検討してきました。その基本構想の中の「町の将来像」については、下段に記載のとおり決定し、町のキャッチフレーズのなものと、先行して使用していくことになりました。

第8回からの会議では、まちづくりの方向性に基づいた具体的な取り組みを定める「基本計画」の検討に入っています。これまで、月1回のペースで開催していた検討会議ですが、これからは2カ月に3回程度に回数を増やし、作業を進めていきます。また、3月に実施しました「まちづくりに関するアンケート調査」の結果も

まちづくりに関するアンケート調査結果

次ページから

計画づくりの参考として活用していきたいと考えています。
(集計結果は、次ページ以降に掲載しています。)

町の将来像

笑顔つながり 夢ふくらむまち

「ずーっと、西会津」

町民が健康で安全安心に暮らしたい(笑顔)、家族や地域の支え合いのなかで、将来を担う子どもたちがのびのびと成長する(つながり)町になっていきます。

町民一人ひとりが夢や希望を持ち、その実現に向けて挑戦し、地域の資源を活かしながら、新たな価値をみんなで創造する活気ある(夢ふくらむ)町を目指します。

先人が築いてきた歴史文化を誇りに思い、豊かな自然を大切にしながら、「ずっと、ここに住み続けたい」と思えるまちを次の世代に引き継いでいきます(ずーっと、西会津)。

◆町民アンケートの結果について

結果について

総合計画の策定にあたり、町民の皆さんから意見をお聞きするため、町民アンケートを実施しました。その結果をお知らせします。

調査概要

調査地域：西会津町全域
 調査対象者：西会津町内に在住する15歳以上の町民2,073人（年齢及び地区別の人口構成に配慮したうえで無作為抽出）
 調査方法：郵送配布・回収による郵便調査方法
 実施期間：平成30年3月7日～3月31日
 回収結果：配布件数2,073件、回収件数952件、回収率45.9%

町の住みよさと今後の居住意向

西会津町の住みよさについては、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい』が57.5%で、「あまり住みよくない」と「住みよくない」を合わせた『住みよくない』の30.4%を上回っています。年代別に見ると、15～29歳と70歳以上で『住みよい』が、30～39歳では『住みよくない』の割合が他の年代に比べて高くなっています。

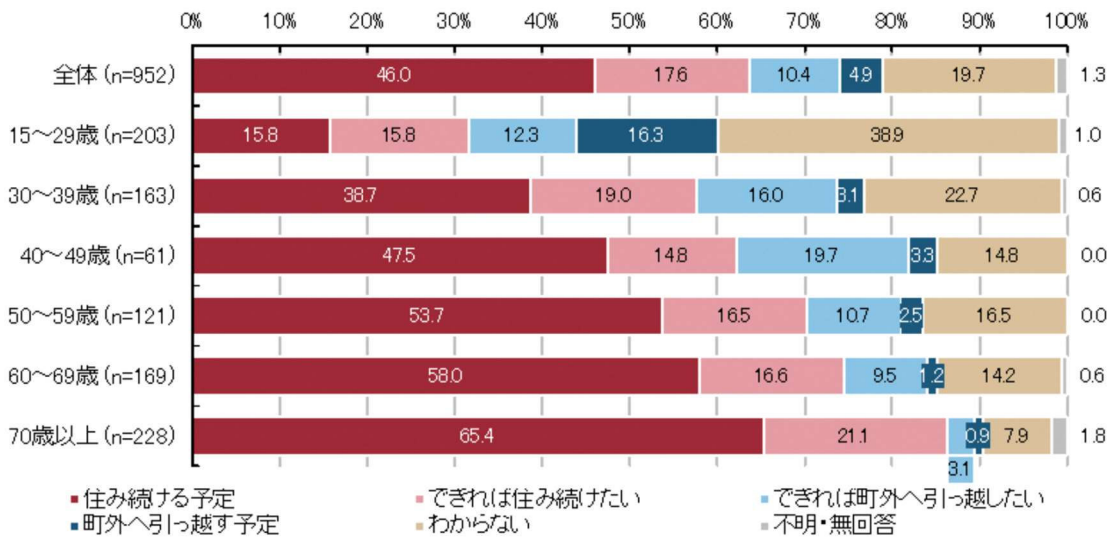
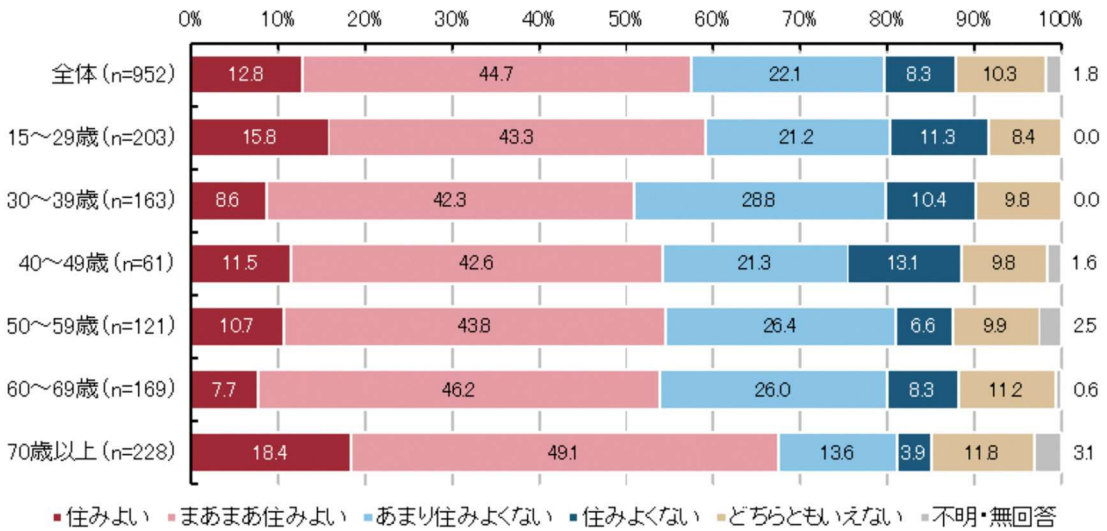
今後の居住意向は、「住み続ける予定」が46.0%

【西会津町の住みよさ】

最も高く、次いで「わからない」が19.7%、「できれば住み続けたい」が17.6%となっています。年代別にみると、年代が上がるほど「住み続ける予定」が高くな

【今後の居住意向】

ついています。また、15～29歳で「町外へ引越す予定」が他の年代に比べて高くなっています。若年層の町外への流出が課題となっています。



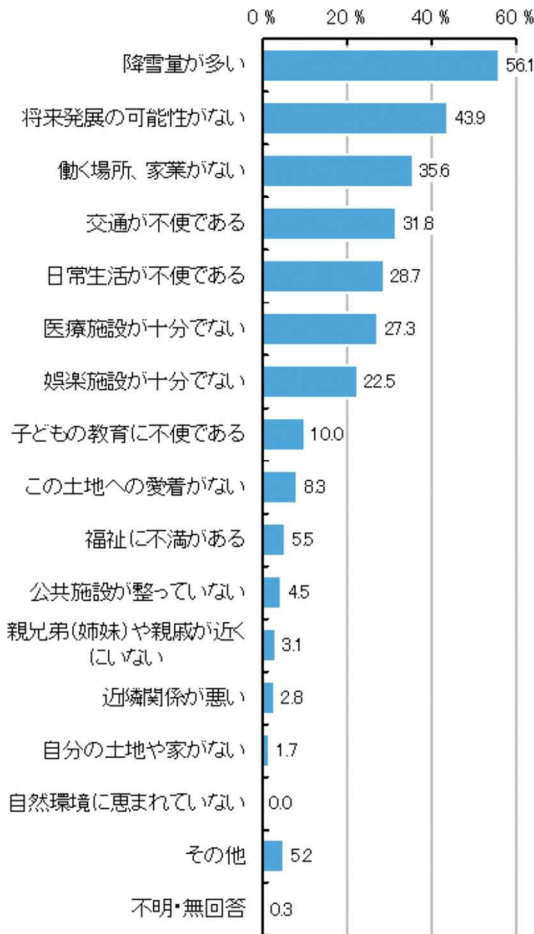
町が住みよいと思う理由、住みよくないと思う理由

西会津町が住みよいと思う理由については、全体では、「自分(家族)の土地や家がある」が54.6%で最も高く、次いで「長年住み慣れている」が48.4%、「この土地への愛着がある」が33.9%となつています。その他、60歳以上で「福祉が充実している」が高くなつています。

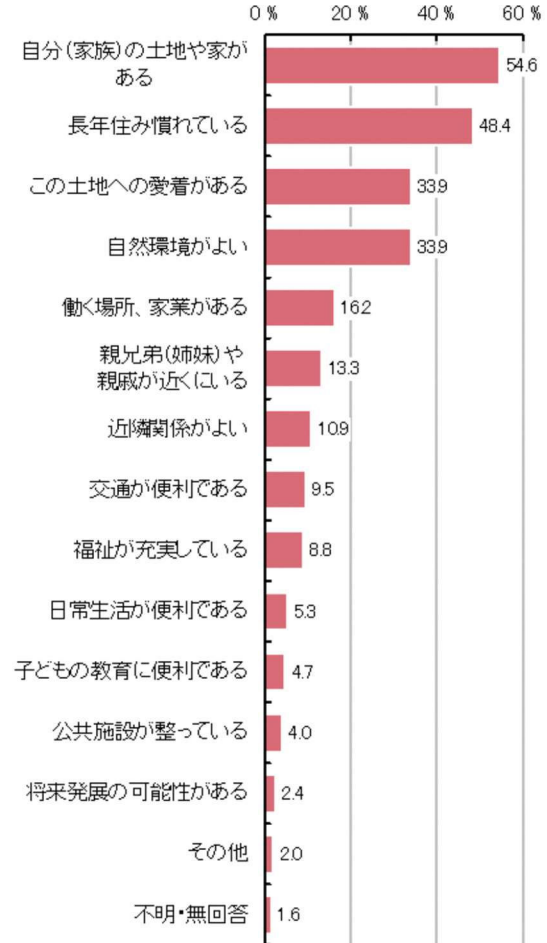
西会津町が住みよくないと思う理由については、全体では、「降雪量が多い」が56.1%で最も高く、次いで「将来発展の可能性がない」が43.9%、「働く場所、家業がない」が35.6%となつています。

地区別では、野沢地区、尾野本地区、群岡地区で「降雪量が多い」が、新郷地区で「日常生活が不便である」、奥川地区で「交通が不便である」が最も高くなつています。

n=289 【町が住みよくないと思う理由】



n=548 【町が住みよいと思う理由】

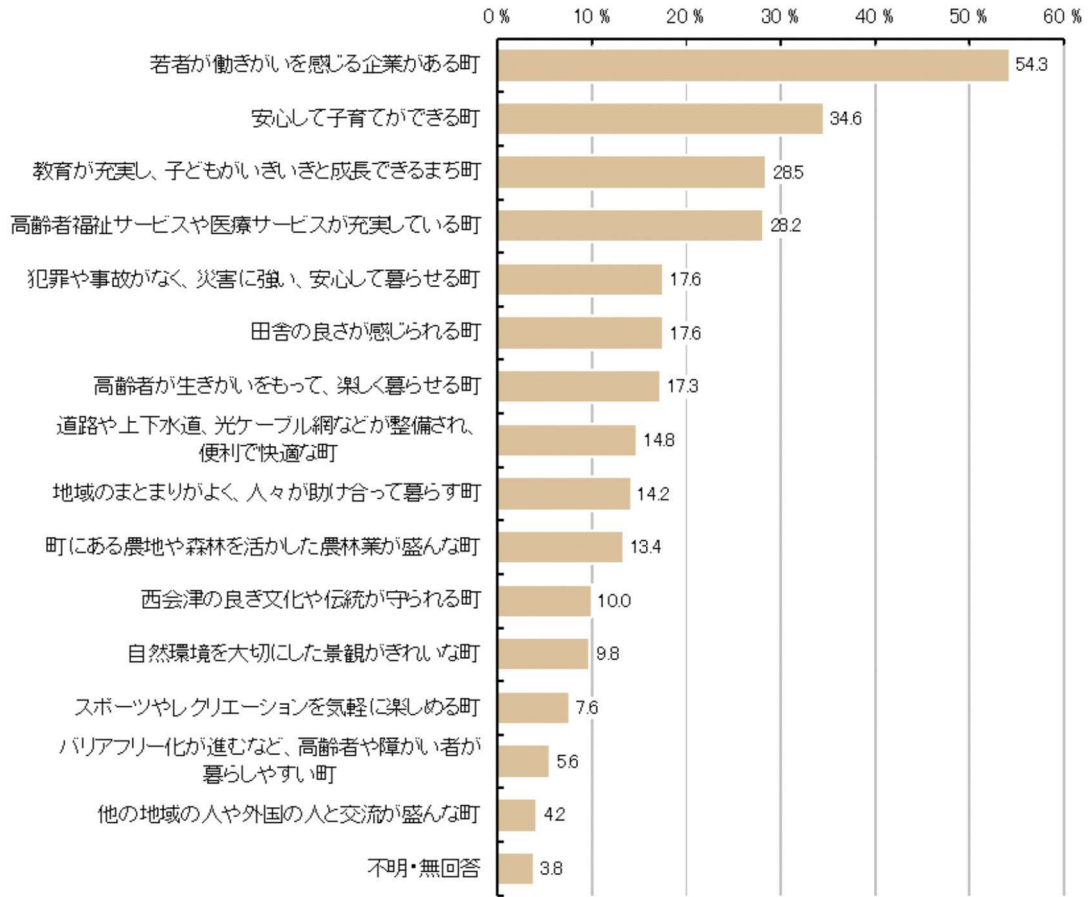


将来どのような町にすべきか

西会津町を将来どのような町にすべきかについては、全体では、「若者が働きがいを感じる企業がある町」が54.3%で最も高く、次いで「安心して子育てができる町」が34.6%、「教育が充実し、子どもがいっきもと成長できる町」が28.5%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「若者が働きがいを感じる企業がある町」が最も高くなつています。40歳代以下では「安心して子育てができる町」「教育が充実し、子どもがいっきもと成長できる町」などの子育てに関するものが高く、50歳代以上では「高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町」が高くなつています。また、10・20歳代では、「西会津町の良き文化や伝統が守られる町」が高くなつており、若年層の伝統・文化に対する関心が高いことが伺えます。

地区別では、すべての地区で「若者が働きがいを感じる企業がある町」が最も高くなつています。また、尾野本地区、群岡地区では「高齢者が生きがいをもって、楽しく暮らせる町」が、新郷地区、奥川地区では「町にある農地や森林を活かした農業が盛んな町」が、新郷地区では「道路や上下水道、光ケーブル網などが整備され、便利で快適な町」が他の地区に比べて高くなつています。



【町を将来どのような町にすべきか】

年代別上位3項目

	15~29歳 (n=203)	30~39歳 (n=163)	40~49歳 (n=61)	50~59歳 (n=121)	60~69歳 (n=169)	70歳以上 (n=228)
1位	若者が働きがいを感じる企業がある町 (47.3%)	若者が働きがいを感じる企業がある町 (60.1%)	若者が働きがいを感じる企業がある町 (63.9%)	若者が働きがいを感じる企業がある町 (66.1%)	若者が働きがいを感じる企業がある町 (50.9%)	若者が働きがいを感じる企業がある町 (50.4%)
2位	安心して子育てができる町 (37.9%)	安心して子育てができる町 (52.8%)	安心して子育てができる町 (34.4%)	高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町 (34.7%)	高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町 (34.9%)	高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町 (41.7%)
3位	教育が充実し、子どもがいきいきと成長できるまち町 (30.0%)	教育が充実し、子どもがいきいきと成長できるまち町 (44.8%)	教育が充実し、子どもがいきいきと成長できるまち町 (31.1%)	安心して子育てができる町 (31.4%)	安心して子育てができる町 (26.6%)	高齢者が生きがいをもって、楽しく暮らせる町 (30.7%)

自由意見

アンケートでは自由に意見を書いていただく項目を設けました。意見を記入した方は254人であり、アンケート回答者(952人)の26.7%でした。1人の方がいくつかの意見を記入しているものもあるため、自由意見の総数は447件となっております。主な意見を大きくまとめると次のとおりです。

- 働く場の確保(所得の向上含む) 32件
- 町職員の意識改革、行政への要望 22件
- 若者支援 22件
 - 人材育成、コミュニティスペース設置等
- 教育の充実 19件
 - 多様性、郷土学習、プール設置、大学等の就学資金等
- 子ども・子育て支援の強化 17件
- 農業支援 19件
 - ミネラル野菜ブランド化、後継者(企業)支援、中山間地支援、農林産物PR等
- 医療の充実 14件
 - 眼科、耳鼻科、医師の増、入院・夜間救急待合所の充実
- 子ども用屋内遊び場の設置 13件
- 雪対策 12件